

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) 黒崎播磨株式会社		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒 806-8586 北九州市八幡西区東浜町1番1号	
本票作成	部署名：安全環境防災部				
主たる業種	分類コード	21	業種名：窯業・土石製品製造業		
事業の概要	鉄鋼向け耐火物（定形・不定形）の製造、電子部品向けセラミックの製造販売				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	備前工場		岡山県備前市浦伊部1175	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 1 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

温室効果ガス排出量	基準年度(平成 21 年度)	(平成 25)年度排出量	目標年度(平成 26 年度)
	9,690 t CO ₂	12,253 t CO ₂	9,205 t CO ₂
主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(平成 25)年度排出量
	①	備前工場	12,253 t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂

削減目標の達成状況	計画期間： 平成 22 年度 ～ 平成 26 年度 (5 箇年度)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 総排出量基準	(25)年度削減実績	目標削減率	目標達成
	<input type="checkbox"/> 原単位基準	△ 26.4 %	5.0 %	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容		
	原単位当たり排出量		
	基準年度	(25)年度	目標年度
	CO ₂ /()	CO ₂ /()	CO ₂ /()

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(平成 25 年度)	達成率等
指標の状況				

【削減状況の自己評価】

基準年度であるH21年度に対し、H25年度は26.4%の大幅増となった。状況としては基準年度以降、加熱炉に使用していたA重油をLPGへの転換を進め、H26年5月以降完全に切替えられた。しかし、基準年度がリーマンショック後の生産量低迷期であったが、H25年度は主要取引先である鉄鋼業界の増産により、使用原単位は低減したものの使用量は7%以上増加した。また電力使用量は基準年度比2.2%削減したが、中国電力殿の排出係数が70%以上上昇したため、このことが目標未達の最も大きな原因となっている。

【推進体制】

H24年7月の親会社黒崎播磨㈱との合併により、九州耐火煉瓦㈱は消滅し、黒崎播磨㈱備前工場として新規発足した。本社安全環境防災部の指導の下、新組織編制を行い、環境管理グループを合併前6⇒5グループに削減し、環境改善計画にて定められた目標値(電力・エネルギー使用原単位、環境配慮技術開発推進等)について毎月各グループの環境委員がフォローを行っている。H26年度より3ヵ年計画を新たに設定し、現在達成に向けて環境改善活動を進めている。

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
備前工場	<p>(H25年度実施分)</p> <p>4半期ごとの環境管理委員会以外に月別の環境改善計画に対するフォローを行い、本社に報告の上、黒崎播磨全工場の改善実績を報告し、備前工場と全工場の進捗管理を推進していく。</p> <p>(今後実施予定分)</p> <p>①照明器具のLED化が中断したため、推進策を検討②生産設備、加工機械類等の省エネタイプによる設備更新検討③業務効率化による残業時間削減に取り組む、工場・事務所の冷暖房等電力使用量の削減など従来どおりに取り組んでいる。</p>

【森林保全等吸収源対策への取組】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入】

県内での取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】

--